

2019年度 公益財団法人日本バレーボール協会

審判規則委員会 運営基本方針

2019年度審判規則委員会の運営基本方針を以下の5項目とする。

- 1 映像等を活用し判定基準の統一を図り、安定した審判技術とメンタル面の強化に努める。また、試合中の選手やチームスタッフの言動に対しては、ルールを的確に適用し、公平・公正で手際の良い判定により安全で円滑な競技運営を行う。
- 2 国内競技会及び国際競技会の成功を期するため事前講習会を開催し、スコアラー・アシスタントスコアラー・ラインジャッジ・コートオフィシャルの質的向上を図る。特に、2020東京オリンピックに向けて、スコアラー、ラインジャッジ、コートオフィシャルについて各大会の機会を捉えたトレーニング計画を立て、効果的に実践を通してレベルアップを図る。
- 3 選手・指導者を対象に、ルール及び取扱いについて説明を行い、正しい理解とルール遵守を醸成する。
- 4 A級審判員資格取得講習会、ビーチバレーボール特別A級審判員資格取得講習会を実施し、次世代を担う若手審判員の発掘、育成を進める。
- 5 男女共同参画をさらに進めるため、各カテゴリー・各都道府県にも女性審判員の活動の支援を推進すると共に、メンタル面の強化及び審判技術の向上を図る。

指導部：審判員の技術の向上を目指し、カテゴリーに応じた適切な講習会を実施する。
また、審判員の責務として、選手及びチームスタッフに対しルールを正確に伝達してルールの理解を深めるよう努力する。

- (1) A級審判員のカテゴリーを設け、レベルに応じスキルアップのための技術強化事業を推進する。
- (2) チームの選手・指導者に対してルールの改・修正点やルールの取扱い等の周知を図り、バレーボール・ビーチバレーボールの競技力の向上に資する。
- (3) 女性審判員の育成に努める。
- (4) 公認審判員、特に若手審判員の育成に努め、裾野の拡大を図る。

規則部：見易く正確で分かりやすいルールブックの作成を目指し、6人制をはじめ4種別のケースブックの編集・整理を行っていく。9人制についても競技の活性化を図るために、親しみやすいバレーボールを目指し、そのルールの研究を進める。

登録部：JVAメンバー制度(MRS)に従って、公認審判員のMRS登録の増加を図るとともに、公認審判員の現状把握を行う。

以上